

「ぎふ女のすぐれもの」認定事業【岐阜県】

総事業費	10,371千円
交付金額	5,185千円

地域の実情と課題

- ◆地域の実情
 - 本県における女性の労働力率は、全国と比較すると、「15～24歳」では全国より高く、「25～34歳」では全国より低くなり、「35～74歳」で再び全国より高くなる、言わば、M字カーブを描いている。
 - 女性の管理職比率は、13.0%で全国40位にとどまっている。(R2国勢調査)
- ◆課題
 - 女性の活躍推進に向けた組織風土づくりが必要である。

目的・目標

- 【目標】認定品を女性活躍の好事例として発信し、県内企業の女性登用に係る取組みを促す。
- 【認定品のPR・販売】
 - ・認定品をPRするための冊子、ロゴマークシールを作成
 - ・県内最大級の商業施設である「イオン各務原店」にてフェアを開催
 - ・名古屋・栄にある「GIFTS PREMIUM」、オアシス21にてフェアを開催
 - ・「EQUALAND SHIBUYA」に「ぎふ女のすぐれもの」を出展 等

事業の特徴

○県内の企業等から、女性が企画・開発に参画した商品(食・モノ・サービス)及び取組を募集し、この中から優れたものを「ぎふ女のすぐれもの」として認定。全国に向けてPR・販売することで、女性の登用や活躍の具体的な効果を周知し、女性の活躍を推進した。

連携団体

- ◆清流の国ぎふ女性の活躍推進会議
- 【経済・各種団体】
 - 県経営者協会、県経済同友会、県建設業協会、県森林施業協会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県農業協同組合中央会、日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会
- 【行政】
 - 岐阜労働局、中部経済産業局、県市長会、県町村会
- 【その他】
 - NPO代表、企業経営者・人事担当者、学識経験者 他

事業の効果

○女性の活躍推進の具体的な事例として「ぎふ女のすぐれもの」商品を題材にすることで、女性の力が新たな価値を創造することを示し、女性の活躍推進を促すことができた。

今後の課題

- 本県では、出産・子育て期における女性の離職率が高いほか、女性管理職比率が低いなど、全国と比べて女性の活躍は遅れている状況にある。
- 認定品を女性活躍の好事例として広くPRし、新たな価値を創造するためには女性の力が不可欠であることを経営者層へ訴え、企業の自主的な取組みを促進していく。

◆「ぎふ女のすぐれもの」認定事業

県内の企業等の女性が企画・開発に参画した商品（食・モノ・サービス）及び取組を募集し、その中から優れたものを「ぎふ女のすぐれもの」として認定し、全国に向けてPR・販売することで、女性の登用や活躍の具体的な効果を周知し、女性の活躍を推進した。



○ぎふ女のすぐれものフェア開催

[開催日]

令和5年1月23日～2月10日

[場所]

GIFTS PREMIUM及びオアシス21



○「EQUALAND SHIBUYA」出展

[開催日]

令和5年3月7日～31日